

「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」 の開催結果

教育委員会では、稲永小学校と野跡小学校の統合に向けて検討を進めています。

令和2年1月17日（金）及び18日（土）に稲永小学校の体育館で稲永小学校の保護者及び稲永学区の方を対象とした「稲永小学校における統合に関する説明・意見交換会」を開催し、様々なご意見やご質問をいただきました。

当日のやりとりやアンケートなどでいただいたご意見やご質問について、名古屋市教育委員会の考え方をまとめました。内容につきましては、趣旨の類似するものをまとめさせていただいたほか、原文を一部要約し、また分割して掲載しておりますのでご了承ください。

◆お問い合わせ先

皆さまからのご意見やご質問は、EメールまたはFAXで受け付けています。

名古屋市教育委員会事務局総務部教育環境計画室

Eメール：a3282@kyoiku.city.nagoya.lg.jp

FAX：052-972-4176 TEL：052-972-4091

1 スケジュールに関すること

○統合は決定事項なのか。いつ統合がされるのか。

○統合に向け、早くて何年、遅くて何年といった目標があるのか。教育委員会として何年でやりたいという意気込みはあるのか。

（教育委員会の考え方）

- ・ 今後、野跡小学校が小規模校を脱する可能性は低く、稲永小学校も子どもの数が減少して、クラス替えのできない学年が出てくると予想しています。稲永小学校にとっても、望ましい学校規模を維持できるように、取り組みを進めてまいりたいと考えています。
- ・ 今回の説明・意見交換会は、統合に向けた取り組みの最初の段階（ステップ1）に位置するものです。保護者・地域の皆様へ統合について教育委員会の考え方を広くお知らせするため、開催いたしました。
また、教育委員会では、統合を進めていく際には、中立性や客観性ととともに専門的立場からの見識や判断が必要と考えています。今後、学識経験者等により構成する名古屋市子どもいきいき学校づくり推進審議会で具体的な取り組み内容の調査・審議を行う予定です（ステップ2）。
保護者・地域の皆様には、審議会の答申を踏まえ、統合スケジュールを含む具体的な取り組み内容を改めてお示しし、丁寧な協議（ステップ3）を行った上で統合の決定をしたいと考えています（ステップ4）。

(1の続き)

- ・教育委員会としては、令和2年度中の統合決定を目指したいと考えています。
- ・スケジュールは校舎の整備内容によって異なりますが、参考として、なごや小学校の事例では、検討開始から新しい校舎で授業を受けられるようになるまで6年ほど（検討、新しい学校づくり、校舎整備でそれぞれ概ね2年）かかりました。

2 統合にあたっての稲永小学校の校舎整備に関すること

- 校舎などの古くなった所をなおしてほしい。子ども達が快適に学べるような、整備をしてほしい。
- トイレの洋式化、きれいなトイレの整備を進めて欲しい。
- 稲永小学校の土地を拡張する予定はあるのか。具体的には、校舎を改築するのか、改修するのか。
- 工事期間中の子どもの授業はどのように行っていくのか。
- トワイライトルームの部屋も一緒にきれいに整備してほしい。

(教育委員会の考え方)

- ・統合を契機に子どもたちにとって安心・安全・快適な教育環境が確保できるよう学校施設の改善を図ってまいります。
- ・また、具体的な整備の考え方につきましては、工事期間中の教室等の確保を含めて、子ども達の安全確保を第一に、学校生活への負担を考えながら検討してまいります。
- ・整備の方針につきましては、保護者・地域の皆様にお示しする準備ができ次第、改めてご説明する予定です。
- ・なお、現在の稲永小学校の敷地だけで小学校の校舎配置が可能であることから、土地の拡張は考えておりません。

3 通学距離・安全対策に関すること

- 現状からどれだけ遠くなるのか、どれだけ通学時間ふえるのか、具体的な数字で示してほしい。特に低学年は荷物も多く、大変だと思う。
- 野跡小の子どもは学校が遠くなる。通学路の安全対策について、特に大型車が通る道路についての取り組みや配慮はどのようにするのか。
- 通学区域が広がると、子ども同士が遊ぶ交友範囲も広がるので心配だ。

(教育委員会の考え方)

- ・名古屋市では、小学校における通学距離は概ね2kmを目安と考えています。野跡学区南部の野跡3丁目から野跡小学校まで概ね0.7kmですが、統合後の稲永小学校までは概ね1.6kmとなる見込みです。

(3の続き)

- ・我々も地域を歩いて、通学路の安全対策は大変重要なことだと認識しています。統合後の新しい通学路につきましては、統合決定後の新しい学校づくりの中で保護者や地域の皆様と一緒に通学路を歩いたり、子どもの通学練習会を開催するなどして、考えてまいります。
- ・なお、登下校における子どもの荷物につきましては、統合と関係なくそれぞれの学校で対応を進めているところです。学校の実情にあわせて対応を検討します。
- ・地域・保護者の皆様にもご協力をいただきながら、警察や土木事務所等の関係行政機関と連携し、学校とともに子どもことを第一に考えた安全確保に取り組んでまいります。

4 教員の負担等

- やはり少ない方がしっかり見てもらえる気がするが、人数が増えることによって、1人1人に寄り添うことが出来るのか。
- 教員の負担が重くなっていると思うが、統合で子どもの数が増えると先生の数はどうなるのか。
- 統合後は、稲永と野跡の先生はそのまま来てもらえるのか。子どもたちにとっては同じ先生が来てくれたらいいと思う。
- 知らない子同士で一緒になると、いじめやいざこざが心配。どのようなケアを考えているのか。

(教育委員会の考え方)

- ・統合後は、統合前と比較すると教職員数が増えるため、例えば校務の事務分担はより多くの教職員で分担できるようになります。また、学年が複数学級となれば、学年ごとに準備が必要となる遠足や校外学習などの取り組みを担任同士で分担して計画・立案したり、実施したりすることができるようになります。
- ・運動会や学芸会・作品展などの学校全体の行事においては、より人数の多くなった教職員がそれぞれの役割を分担することで、小規模校の頃よりも負担軽減を図ることができるようになります。
- ・こういった教員の負担が軽減される分、教員は子どもたちにより目を配ることができるようになります。
- ・統合後は、子どもたちのことをよく知っている統合前の教員をバランスよく配置できるようにしてまいります。
- ・統合によって二つの学校が一つになること、また、これまで通い慣れた学校の場所が変わることなどについて、子どもたちの心理的な負担に配慮していくことは重要であると考えています。

(4の続き)

- ・統合に向けては、スクールカウンセラーの活用やなごや子ども応援委員会との連携を図るとともに、学校の中で子どもたちに一番身近な教職員同士での情報交換を進めるなど、子どもたちの実情を踏まえつつ対応していきたいと考えています。

5 統合について

- 早く一緒になってほしい。
- 今までの統合の事例で、メリットとデメリットを教えてほしい。
- 子どもの数が増えた場合、この計画はどうなるのか。
- 令和7年度は12学級となっているが、令和8年度以降にさらに小規模化する可能性があった場合は、さらに統合をするのか。その場合、また負担が増えるのではないか。
- 統合した場合、統合前のPTA役員経験者は、統合後も経験済みとして取り扱ってもらえるのか。
- トワイライトのAP（地域協力員）は、両学区から選出されるのか。人数が多くなるので、ぜひ来てほしい。

(教育委員会の考え方)

- ・資料として統合したなごや小学校で実施したアンケート結果を配布いたしました。この中で、統合前には「学校の様子が変わること」、「新しい友達ができるのか」などの心配があったという子どももいましたが、統合後には概ね解消され、統合してよかったという声が多く聞かれました。
- ・現在の児童数や幼児人口に、人口の移動率等を加味して令和7年度までを推計しています。令和8年度以降に小学生になる子どもはまだ生まれていないためお示しできませんが、今後の傾向として、子ども数が増えることはなかなか見込めないのが現状です。
- ・統合を進め、より良い教育環境を確保することで、結果として子どもの数も増え、望ましい学校規模が維持できるようにしたいと考えています。統合後にさらに児童数が減少した場合の再度望ましい統合につきましては、子ども達や保護者・地域の皆様のご負担を考え、慎重に検討していく必要があると考えています。
- ・学校の統合によりPTAもひとつになります。役員の取り決めなどは、統合が決まった後に両校での話し合いなどにより決定することになると考えています。また、トワイライトにつきましては、所管する子ども青少年局と情報共有しながら、対応してまいります。

6 その他（ご意見やご質問）

- 説明・意見交換会の内容（便り）は、両小学校をまとめて配布してほしい。
- 説明会に参加してよかった。スケジュールや通学路のことなど、分かり次第、再び説明会を開くなどしてほしい。
- 丁寧な準備と内容でした。参加者が少ないのがもったいない。参加者を増やす事が課題だと思う。もう少し意見交換の時間があるとよかった。
- まだ分からない、という事が多すぎて意見交換がやりにくかった。ある程度、決まってからにしたほうがいいと思う。この内容なら資料を配るだけで十分だと思う。
- 少数意見の中にあるものを、見逃さないようにしてほしい。
- 教育委員会の決定、大きな流れがあるなら、受けてこちらも動くしかない。

（教育委員会の考え方）

- ・今回はステップ1ということで、教育委員会の考えをお示しするために説明・意見交換会を開催しました。いただいたご意見を参考に、保護者・地域の皆さんへご説明できるよう、進めてまいります。
- ・お便りについて、小学校を通じた保護者への配布や地域で回覧するとともに、統合に向けた様々な情報を市公式ウェブサイトへの掲載等により情報提供してまいります。保護者・地域の皆様のご意見をいただきながら、取り組みをすすめてまいりたいと考えています。
- ・なお、野跡小学校での説明・意見交換会につきましても同様に取り扱っていますので、参考にご覧ください。

様々なご意見・ご質問、誠にありがとうございました。